

在大阪ロシア連邦総領事館

総領事 アレクサンドル・アレクサンドロヴィチ・テルスキフ様

2025 年 8 月 24 日

プーチン大統領への抗議と要望

プーチン大統領、あなたがウクライナを非ナチ化するためと称して始めた特別軍事作戦という名のウクライナ侵略は3年6ヶ月となりました。ロシア軍の戦死者は26万人以上、負傷者は100万人以上という報道があります。これ以上増やすのですか。財政も圧迫し、いまは戦争景気ですが、いずれ反動不況がくるでしょう。何度も指摘しているようにあなたたちの母体である旧ソ連は1978年から14年間、アフガニスタンに侵攻し1万6千人の戦死者を出し、国力もすり減らしたことで崩壊したと言われています。今回のウクライナ侵略は世界最強を自負するあなたたちロシアが、ウクライナの反転攻勢を凌ぎ、クリミア半島を含む南部、東部4州を実効支配したこと、最終的にはウクライナ全土をわがものにできると考えているから、トランプ大統領が8月24日を期限とする50日間停戦を提案しても無視して激しい攻撃を続けてきたのでしょうか。

トランプ大統領はノーベル平和賞を狙っていて、何としてもウクライナ戦争の停戦、終結を実現しようとして、8月15日アンカレッジ会談を提案しました。プーチン大統領、あなたは停戦や終戦など考えていないけれど、トランプ大統領に対する政治的配慮から参加しました。メディアは、停戦・和平もありうるかと騒ぎましたが、あなたにはそんな気がなかったもので何の成果もありませんでした。自らの辞書に失敗という言葉のないトランプ大統領は10点満点の会談だと述べ、プーチン大統領、あなたも自分の主張をトランプ大統領に伝え、ほとんどを同意させたので満点と思っているでしょうが、わたしたちは失敗だったと思っています。ウクライナの人々はがっかりしています。

会談が失敗したのは、プーチン大統領、あなたがウクライナに対する軍事侵攻は侵略であり、国際法にも国連憲章にも、正義と人道にも反することであり、直ちに攻撃を停止し撤退すべきだと考えていないからです。トランプ大統領も、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻を侵略と考えず、ウクライナが独立国家としてロシアから離れたため、紛争、戦争が起きたのであり、ウクライナがロシアにもどれば終わると思っているからです。この認識を変えないかぎり、何度会談しても侵略は終わりません。

また、戦争や紛争を終らせようとするのなら、侵略されている側を会談に呼ぶのは当たり前ですが、トランプ大統領はウクライナのゼレンスキー大統領を呼ばなかったのが失敗したのです。トランプ大統領は今後2週間ほどの間に、プーチン、ゼレンスキー会談を開催させようとしています。ロシアはウクライナ大統領選挙が自分たちの侵略で延期されているのを知ったうえで、ゼレンスキー氏の大統領資格を問題にしています。プーチン大統領、あなたは次の会談に簡単には応じないでしょう。ウクライナを降伏させ、全土を再びロシアのものにできると考えているからでしょう。そうであるかぎり侵略は終わりません。長期化し泥沼化します。そうすればアフガニスタン侵攻で旧ソ連が衰退、崩壊したのと同じ道をたどります。同じ誤りを繰り返すのですか。プーチン大統領、冷静になってウクライナ侵略を止め、停戦・撤退、侵略終結の道を選択されることを心から望みます。

これ以上、戦死者、負傷者を出すな！ウクライナを破壊するな、人々を殺すな！

核兵器を使うな！原発を盾にするな、要塞にするな！弾圧を止めろ！

大阪総領事テルスキフさん、私たちの抗議と要請をプーチン大統領に必ず伝えてください。

ウクライナ侵略の即時停止・撤退を求める市民一同

連絡先：山本健治

大阪市東淀川区東中島 1-20-12-1107 TEL 06-6327-7978 FAX 06-6327-7986